

米中首脳会談の概要(2026年5月14日～15日) (再改訂版)

2026年5月21日

CISTEC 事務局

今回の首脳会談においては、米中関係の「安定化」ⁱを図るとともに、相互に貿易を拡大するため貿易委員会等の枠組みを設置することに重点が置かれた。米中政府の発表や報道ⁱⁱをもとに、その概要を整理すると以下の通り。(注)中国政府が5月20日に公表した解説(別添4)を追加、それに沿って主な変更点を赤字で記載したもの。

	米国 (別添1)	中国 (別添4)
レアアース	中国は、希土類およびイットリウム、スカンジウム、ネオジム、インジウムを含むその他の重要鉱物に関連するサプライチェーンの不足について、米国の懸念に対処する。また、希土類の生産・加工設備および技術の販売禁止や制限に関する米国の懸念に対処する	レアアース等の重要鉱物について、輸出管理法令を遵守した、民生用の許可申請について審査。中国は、サプライチェーンの安全・安定を保証するために良好な条件を創出。
貿易・投資委員会	貿易委員会は、センシティブでない品目に関する二国間貿易を管理することを可能にする 投資委員会は、投資関連の問題を議論するための政府間フォーラムを提供	農産物を含む300億USドル以上の規模で、双方が合意した互いに関心のある製品について、実行最恵国税率 ⁱⁱⁱ についてはより低い税率が適用される見込み。
航空機	中国の航空会社による米国製ボーイング機200機の初期購入を承認	中国のボーイング機200機を導入。同時に、米国は中国に十分なエンジン、部品の供給を保証する。
農産物	2025年10月に約束した大豆購入に加え、2026年(按分)、2027年、2028年に、年間少なくとも170億ドル相当の米国産農産物を購入する 期限切れとなっていた400カ所以上の米国産牛肉施設の登録を更新し、新たな登録を追加する 中国は、米国農務省(USDA)により高病原性鳥インフルエンザの非発生地域と認定された米国の州からの家禽肉の輸入を再開した	米国は、2008年より中国の乳と乳製品の輸出に実施していた自動差し止め措置を解除。中国の鉢植え植物の試験的米国輸出を受け入れることに同意し、中国の水産物の自動差し止め措置の解除を推進することに同意。米国は山東省の高病原性鳥インフルエンザ非発生地域の認定および中国の関連企業の輸入警告レッドリストからの除外申請の審査を加速 中国は、牛肉を輸出する米国企業の登録を再開、一部の州の高病原性鳥インフルエンザの制限を解除、関連する州からの家禽類製品の輸入を再開、薬物残留問題により輸出が一時停止されている米国牛肉企業の是正資料の審査を加速させ、また農業バイオテクノロジーについても米国と交流・意思疎通を行う。

1. 関税、輸出管理等に関する本年 11 月までの休戦

本年 11 月までの休戦は維持され、商務省 BIS のエンティティリストに係る 50%ルール（昨年 9 月 29 日公表）、中国のレアアース再輸出管理等の措置（昨年 10 月 9 日公表）についても実施停止が継続している。

中国側の発表（別添 4）によれば、「クアラルンプール経済貿易協議の共同取り決めの延長を推進し、両国経済貿易協力により安定した政策環境と市場の期待を提供する」となっている。

2. 貿易委員会及び投資委員会の設置

米中間の貿易・投資を拡大するための措置を検討する場として、「貿易委員会」と「投資委員会」を設置。なお、双方の発表ぶりを比較すると以下のとおり。

（米国）対象についてはセンシティブでない品目に限るとし、報道では米中お互いに 300 億ドルを輸入するアイデアを示唆したが、関税引き下げについては公表文書で言及していない。

（中国）300 億ドル規模の相互に関心のあると合意した品目について関税引き下げを議論するとし、センシティブな分野をあらかじめ排除せず。

3. 今後注目すべき点

(1) 本年は、11 月 18 日、19 日に中国・深圳で APEC 首脳会議が、12 月 14 日、15 日に、米国フロリダで G20 首脳会議が開催され、米中首脳会談の機会がある。また、米大統領が、9 月 24 日に中国国家主席を米国ホワイトハウスに招待することも公表された。これらの首脳会談に向けて、今後とも、11 月を期限とする関税及び輸出管理についての休戦が継続するのか、貿易委員会等の場でいかなる個別案件が合意されていくかが注目されるⁱⁱⁱ。

(2) 関税については、現在、IEEPA 関税 20%（フェンタニル関連関税 10%を含む）が徴収停止となったため、米中の追加関税はお互いに 10%で均衡している。なお、1974 年通商法第 122 条に基づき貿易赤字を理由として課している 10%の関税については、課税できる期間（120 日）が本年 7 月 24 日までであることから、それまでに 301 条関税がその代替として課される可能性がある。また、その措置に対して中国側が対抗措置を講じる可能性もあることに留意する必要がある。

（参考）

米中の追加関税（232 条関税、301 条関税は別）

米国：10%（122 条）⇐IEEPA 関税（34%－24%）＋フェンタニル（10%）

中国：10%（そのまま）⇐対抗関税（34%－24%）

ⁱ 米中が「建設的な戦略的安定関係の構築」を合意し、中国側の発表によれば、これは今後 3 年間、さらにはそれ以上の期間にわたる米中関係に戦略的な指針を与えている。別添 3 参照。

ⁱⁱ Bloomberg, Greer: US, China willing to continue trade truce, May 15 2026,

<https://www.bloomberg.com/news/videos/2026-05-15/greer-us-china-willing-to-continue-trade-truce-video>

CNBC, Watch CNBC's full interview with Treasury Secretary Scott Bessent, May 14 2026,

<https://www.cnbc.com/video/2026/05/14/watch-cnbc-full-interview-with-treasury-secretary-scott-bessent.html>

FOX News, BREAKING: Trump addresses Xi's WARNING over Taiwan,

https://www.youtube.com/watch?v=7ib2ab_kDLI

iii 中国は台湾への武器供与について米国に慎重な対応を求めており、現状では米国はそれについて態度を明らかにしていないが、今後の判断が注目される。

ファクトシート：ドナルド・J・トランプ大統領、中国と歴史的な合意を締結 米国の労働者、農家、産業界に成果をもたらす¹

ホワイトハウス 2026年5月17日

1. 平和と繁栄への貢献：

今週、2017年以來初めてとなる米国大統領の中国訪問において、ドナルド・J・トランプ大統領は習近平国家主席と、世界中の企業や消費者の安定と信頼を高める数々の課題について合意に達した。

1.1. トランプ大統領と習主席は、米国と中国が公平性と互惠性を基盤として、戦略的安定をもたらす建設的な関係を築くべきであることで合意した。トランプ大統領は、今秋、習主席のワシントン訪問を歓迎する予定である。両国は、今年後半に開催される G20 および APEC 首脳会議の主催国として、互いに支援し合う。

1.2. 両首脳は、イランが核兵器を保有してはならないことに合意し、ホルムズ海峡の再開を呼びかけ、いかなる国や組織も通行料を徴収することを許してはならないことに合意した。

1.3. トランプ大統領と習近平国家主席は、北朝鮮の非核化という共通の目標を確認した。

2. 米中貿易・投資委員会の設立：

この歴史的な合意の礎として、トランプ大統領と習近平国家主席は、二国間の経済関係を最適化するため、2つの新たな機関、すなわち米中貿易委員会と米中投資委員会を設立した。

2.1. 貿易委員会は、米国政府と中国政府が、非敏感品目に関する二国間貿易を管理することを可能にする。

2.2. 投資委員会は、投資関連の問題を議論するための政府間フォーラムを提供する。

3. 米国の労働者、農家、産業界への成果：

トランプ大統領は、高賃金の米国人雇用を促進し、米国製品のための新たな市場を開拓する、広範な一連の約束を交渉した。

3.1. 中国は、希土類およびリ튬、スカンジウム、ネオジム、インジウムを含むその他の重要鉱物に関連するサプライチェーンの不足について、米国の懸念に対処する。また、希土類の生産・加工設備および技術の販売禁止や制限に関する米国の懸念に対処する。

3.2. 中国は、中国の航空会社による米国製ボーイング機 200 機の初期購入を承認した。この航空機購入分——2017 年以來、中国による米国製ボーイング機購入の初の約束となる——は、高賃金かつ高度な技能を要する米国の製造業の雇用を創出し、今後数十年にわたり中国の人々が米国製航空機で飛行することを可能にする。

3.3. 中国は、2025 年 10 月に約束した大豆購入に加え、2026 年（按分）、2027 年、2028 年に、年間少なくとも 170 億ドル相当の米国産農産物を購入する。

3.4. 中国は、期限切れとなっていた 400 か所以上の米国産牛肉施設の登録を更新し、新たな登録を追加することで、米国産牛肉の市場アクセスを回復させた。中国は、米国規制当局と協力し、米国産牛肉施設に対するすべての輸入停止措置を解除する。

3.5. 中国は、米国農務省（USDA）により高病原性鳥インフルエンザの非発生地域と認定された米国の州からの家禽肉の輸入を再開した。

ⁱ The White House, Fact Sheet: President Donald J. Trump Secures Historic Deals with China, Delivering for American Workers, Farmers, and Industry, May 17 2026,
<https://www.whitehouse.gov/fact-sheets/2026/05/fact-sheet-president-donald-j-trump-secures-historic-deals-with-china-delivering-for-american-workers-farmers-and-industry/>

商務部報道官が中米経済貿易協議の暫定的な成果について記者の質問に回答

質問：5月14日、中米両国の首脳による会談が行われ、中米経済貿易チームは概ね均衡のとれた前向きな成果を上げたと発表しました。お伺いします、商務部から経済貿易協議の成果についてより多くの状況を説明していただけますか？

回答：中米両国首脳は北京で会談を行い、経済貿易問題について深く掘り下げて討論し、両国の経済貿易関係の発展のために進むべき方向をより一層明確に示し、戦略的な指針を提供した。習近平主席は、中米経済貿易関係の本質は互惠・ウィンウィンであり、両国の経済貿易チームは概ね均衡のとれた前向きな成果を上げ、これは両国の人々および世界にとって朗報であり、双方はこれまで懸命に築き上げてきたこの良好な勢いを共にしっかりと維持していくべきであると指摘した。

5月13日、中米経済貿易チームは韓国で経済貿易協議を行い、両国首脳会談にむけて経済貿易分野の準備を行った。協議において、双方は首脳の重要な共通認識を指針とし、相互尊重、平和共存、協力ウィンウィンの原則を堅持し、互いに関心をもつ経済貿易問題の解決および実務協力のより一層の拡大について率直で、深く掘り下げた、建設的な交流・協議を行った。その後、双方は成果の具体的内容について集中的に協議を行い前向きな共通認識を得た。

現在、双方が経済貿易分野で合意に達した暫定的な成果は主に以下の点にある。

第一に、双方はこれまでの協議の成果を引き続き着実に実行し、関連する関税措置について前向きな共通認識を形成する。

第二に、双方は貿易委員会および投資委員会を設立し、双方の貿易投資分野における各自の懸念について議論することで合意した。双方は貿易委員会を通じて関連する製品の関税引き下げなどの問題について議論し、同規模のそれぞれが関心を寄せる製品の関税引き下げについて原則合意した。

第三に、双方は一部の農産物の非関税障壁や市場参入の問題を解決する、または解決を実質的に推進する。米国は乳製品や水産物の自動差し止め、鉢植え植物の米国輸出、山東省における鳥インフルエンザ非発生地域の認定等の中国側の長年の懸念の解決を積極的に推進する。中国も米国産牛肉施設の登録、一部の州からの鶏肉の対中輸出等の米国側の懸念の解決を積極的に推進する。

第四に、双方は一定の範囲の製品に対する相互の関税引き下げ等の措置を通じて、農産物を含む分野における双方向の貿易拡大を推進することで合意した。

第五に、双方は中国による米国からの航空機購入および米国による航空機エンジン、部品の中国への供給保証等についての関連措置で合意に達し、引き続き関連分野での協力を推進することで合意した。

中米経済貿易協議が前向きな成果を得たことは、双方が相互尊重、平等互惠の精神を堅持し、対話と協力の実施を通じて、問題解決の手段を見出すことができることを物語っている。現在、双方は依然として関連する成果の詳細について協議を行っている。双方の経済貿易チームは両国首脳が定めた共通認識の方向性に従って、できるだけ早く成果を確定させ、共に着実に実行し、次の段階の中米経済貿易協力と世界経済のためにさらなる確実性と安定性をもたらすであろう。

ⁱ 「商务部新闻发言人就中美经贸磋商初步成果答记者问」（中華人民共和国商務部サイト新聞発布・新聞發言人談話 2026 年 5 月 16 日）

https://www.mofcom.gov.cn/xwfb/xwfyrtth/art/2026/art_2ff1de0282be42ab87201b69a9fcb008.html

米中首脳会談関連記事仮訳

①習近平国家主席がトランプ米大統領と会談（中華人民共和国外交部 2026 年 5 月 14 日）¹

2026 年 5 月 14 日午前、習近平国家主席は北京人民大会堂で中国を公式訪問したトランプ米大統領と会談を行った。

習近平は次のように指摘した。現在百年に一度の変革が加速しており、国際情勢は流動的かつ激動しており、中米両国は“トゥキディデスの罠”を乗り越え、大国関係の新たなパラダイムを築くことができるであろうか？助け合って世界の課題に立ち向かい、世界により大きな安定をもたらすことができるであろうか？両国民の幸福と人類の将来・命運に目を向け、二国間関係の素晴らしい未来を共に築くことができるであろうか？これらは歴史の問い、世界の問い、人民の問いであり、大国の指導者が共に答えを出さなければならない問いである。私はトランプ大統領と共に中米関係という大船の進路を定め、舵取りをしっかりと行い、2026 年を中米関係が先人を受け継ぎ未来への道を開く歴史的、象徴的な年としたい。

習近平は次のように強調した。中国が中米関係の安定した、健全で、持続可能な発展に尽力する。私はトランプ大統領と“建設的な戦略的安定関係”を構築して中米関係の新たな位置づけとすることに賛同する。これは今後 3 年間ひいてはより長期間における中米関係の戦略的指針を提供するものであり、両国国民および国際社会から広く歓迎すると確信している。“建設的な戦略的安定”とは、協力を主軸とした積極的な安定、競争の適度な良好な安定、相違が制御可能な常態的な安定、平和が期待できる永続的な安定でなければならない。“中米の建設的な戦略的安定関係”はスローガンではなく、向き合って進む行動でなければならない。

習近平は次のように指摘した。中米経済貿易関係の本質は互惠・ウィンウィンであり、相違や摩擦に直面した際には、対等な協議こそが唯一の正しい選択である。昨日、両国の経済貿易チームは概ね均衡のとれた前向きな成果を上げ、これは両国の人々および世界にとって朗報である。双方はこれまで懸命に築き上げてきたこの良好な勢いを共にしっかりと維持していくべきである。中国の開放の大門はさらに大きく開かれていくだけであり、米企業は中国の改革開放に深く関与しており、中国は米国の対中互惠協力の強化を歓迎する。

習近平は次のように指摘した。双方は我々が合意した重要な共通認識を着実に実行に移し、政治・外交、両軍の意思疎通のルートをより一層有効に活用しなければならない。経済貿易、衛生、農業、観光、人文、法執行などの分野における交流・協力を拡大すべきである。

習近平は次のように強調した。台湾問題は中米関係の中で最も重要な問題である。適切に処理すれば、両国関係は全体として安定を保つことができる。適切に処理できなければ、両国は対立し、さらには衝突に至り、中米関係全体が非常に危険な状態に瀕するであろう。“台湾独立”と台湾海峡の平和は、水と火のように相容れないものであり、台湾海峡の平和・安定の維持は、中米両国の最大の共通点であり、米国は慎重に慎重を期して台湾問題を処理しなければならない。

トランプ大統領は次のように述べた。中国への公式訪問は大変光栄なことである。米中関係は良好で、私と習近平主席は、米中元首間で史上最も長く、最も良好な関係を築き、友好的な意思疎通を維持し、多くの重要な問

題を解決してきた。習近平主席は偉大な指導者であり、中国は偉大な国であり、私は習主席と中国人民に対し、深い敬意を抱いている。今日の会談は、世界が注目する重要な会談である。私は習近平主席とともに、意思疎通・協力を強化し、相違を適切に解決し、史上最良の米中関係を築き、両国のより素晴らしい未来を切り開いていきたい。米国と中国は、世界で最も重要で最も強大な国であり、米中協力は、両国のため、世界のために、多くの偉大で有益なことを成し遂げることができる。私は今回の訪問で米国商工業界の傑出した代表者たちを同行させた。彼らは皆、中国を尊重し、重要視しており、私は彼らが対中協力を拡大することを積極的に奨励する。

両国元首は中東情勢、ウクライナ危機、朝鮮半島等の重大な国際および地域の問題について意見を交わした。

両国元首は、今年の APEC 非公式首脳会議および G20 サミットを成功裏に開催するため、互いに協力することで合意した。

会談中、トランプ大統領は同行した企業家たちを一人ずつ習近平氏に紹介した。

会談に先立ち、習近平は人民大会堂の東門前の広場にて、トランプ大統領の歓迎式典を開催した。

トランプ大統領が到着すると、儀仗兵が整列して敬礼した。両国元首が観閲台に上がり、軍楽隊が中米両国の国歌を演奏し、天安門広場では 21 発の礼砲が鳴らされた。トランプ大統領は習近平の付き添いのもと、中国人民解放軍儀仗隊の観閲を行い、分列式を観覧した。

蔡奇、王毅、何立峰が会談に出席した。

②2026 年 5 月 14 日外交部報道官郭嘉昆が定例記者会見を主宰（中華人民共和国外交部 2026 年 5 月 14 日）ⁱⁱ

アシャルクニュース記者：米中首脳会談では中東情勢について話し合いましたか？イラン情勢およびホルムズ海峡の再開問題についてどのような進展がありましたか？（《ニューヨークタイムズ》も同様の質問）

郭嘉昆：本日午前、習近平主席とトランプ大統領が会談を行い、両国元首は中東情勢等の重大な国際・地域問題について意見を交換した。中国側からはすでに関連情報を発表しており、そちらを参照してください。ホルムズ海峡の問題について、中国側の立場は一貫しており、明確である。

《ニューヨークタイムズ》記者：中米は米国産牛肉の対中輸出について購入協議は成立したのでしょうか？

郭嘉昆：午前の中米首脳会談において、習近平主席は、双方が経済貿易や農業などの分野における交流・協力を拡大しなければならないと指摘した。中国側からはすでに情報を発表しており、そちらを参照してください。

澎湃新聞 (The Paper) 記者：中国は今年 5 月 18 日から 19 日にかけて、上海でアジア太平洋経済協力 (APEC) 第 2 回高官会合を開催します。会期が間近に迫っていますが、会議の準備状況についてさらにご説明いただけますか？また、どのような成果が期待されていますか？

郭嘉昆：APEC 高官会合は首脳会議の成果を準備するための主要なルートとなっており、毎年 4~5 回開催されている。2026 年の APEC ホスト国として、中国は 5 月 18 日から 19 日にかけて上海で第 2 回 APEC 高官会合を開催する。本会合では今年の APEC 協力について中間総括を行い、初期段階の成果を集約し、下半期の各行事

や首脳会議の成果に向けた地ならしをする。

さらに今回の高官会合に先立ち、APEC の各委員会、各作業部会が 5 月 11 日から 17 日にかけて、貿易・投資、経済・技術協力、女性、通信、食料安全保障など 40 近くの会議を行う。APEC 加盟経済体、事務局、およびオブザーバーから 1,000 名以上の代表者が会議に参加する予定である。

会合の開催地である上海は中国最大の経済中心都市であり、世界の重要な経済の中心である。上海の経済生産は世界の都市のトップ 5 に入り、港湾貿易額、コンテナ取扱量は世界一を維持している。我々は記者の皆様が第二回高官会合の関連状況を綿密にフォローして報道し、引き続き APEC“中国年”に関心を寄せ、支援することを歓迎する。

ロイター通信記者：中米首脳会談について、習近平主席は“中米の建設的な戦略的安定関係”を構築して中米関係の新たな位置づけとし、今後 3 年間ひいてはより長期間における中米関係の戦略的指針を提供すると指摘しました。報道官からこれについてさらにご説明いただけますか？また、習近平主席は、台湾問題を適切に処理できなければ、中米関係は非常に危険な状態に瀕すると述べました。これは米国に戦争が勃発する可能性があるかと警告しているのでしょうか？

郭嘉昆：最初の問題について、本日午前、習近平主席はトランプ大統領と会談を行い、双方は“中米の建設的な戦略的安定関係”を構築して中米関係の新たな位置づけとし、今後 3 年間ひいてはより長期間における中米関係の戦略的指針を提供することとした。“建設的な戦略的安定”とは、協力を主軸とした積極的な安定、競争の適度な良好な安定、相違が制御可能な常態的な安定、平和が期待できる永続的な安定でなければならない。中国は米国と共に、中米関係の新たな位置づけを向き合って進む行動へと転換し、中米関係の安定した、健全で、持続可能な発展を共に推進していくことを望んでいる。

第二の問題について、習近平主席はトランプ大統領との会談において、台湾問題は中米関係の中で最も重要な問題である。適切に処理すれば、両国関係は全体として安定を保つことができる。適切に処理できなければ、両国は対立し、さらには衝突に至り、中米関係全体が非常に危険な状態に瀕するであろう。“台湾独立”と台湾海峡の平和は、水と火のように相容れないものであり、台湾海峡の平和・安定の維持は、中米両国の最大の共通点であり、米国は慎重に慎重を期して台湾問題を処理しなければならない、と指摘した。

《ニューヨークタイムズ》記者：中米首脳会談では米国の台湾への武器売却問題について話し合いましたか？

郭嘉昆：中国が米国による中国台湾地域への武器売却に反対するという立場は一貫しており、明確である。

RIA ノーボスチ記者：先日、ロシアは“サルマト”大陸間弾道ミサイルの試験発射に成功したと発表しました。プーチン大統領は、“サルマト”の特性により既存および将来出現するであろうミサイル防衛システムを突破できると指摘しました。外交部はこれについて何かコメントはありますか？

郭嘉昆：我々は関連報道を承知している。

AFP 通信記者：米国のルビオ国務長官はトランプ大統領の訪中に同行し、今日午前も習近平主席との会談に参加しました。ルビオ氏は 2020 年に上院議員を務めていた期間、中国の人権状況を批判したとして中国から制裁を受けていました。中国のルビオ氏に対する制裁はすでに解除されたのでしょうか？中国はルビオ氏が代表団に同行して訪中したことをどのように見ているのでしょうか？

郭嘉昆：中国の関連制裁措置はルビオ氏が連邦上院議員を務めていた期間の中国に関する言行を対象としたも

のである。

ブラジル《オ・グローボ》記者：インド・ニューデリーで開催されている BRICS 外相会議は、現時点でまだ共同声明をとりまとめられていませんが、中国は会議でどのような成果をとりまとめることに期待していますか？中国はなぜ高官級の代表者をインドに派遣して会議に参加させなかったのですか？また、イラン外相も BRICS 外相会議に出席していますが、中国は BRICS が現在の危機への対応においてどのような役割を果たすことを期待していますか？（《ザ・ヒンドゥー》も同様の質問）

郭嘉昆：日程上の理由により、中国駐インド大使の徐飛洪が王毅外相に代わって今回の BRICS 外相会議に出席した。

BRICS は新興市場と発展途上国の協力における重要なプラットフォームである。中国は BRICS との協力を重要視し、積極的に参加しており、一貫して BRICS の戦略パートナーシップを深化させ、BRICS の団結・協力の積極的な勢いの強化に尽力している。我々は BRICS 各国と共に、議長国のインドを支援し、“拡大 BRICS (Greater BRICS)”協力の高品質な発展を推進していきたい。

《ニューヨークタイムズ》記者：中米首脳会談において、エリック・トランプ氏はどのような役割を果たしましたか？

郭嘉昆：両国の首脳会談に関する状況について、中国側からはすでに情報を発表している。米国側の同行者の状況については、米国側に問い合わせることをお勧めする。

③外交部報道官がトランプ米大統領の訪中状況について記者の質問に回答（中華人民共和国外交部 2026 年 5 月 15 日）ⁱⁱⁱ

質問：5月14日、習近平主席は訪中中のトランプ米大統領のために一連の公式行事を開催し、国内外から大きな注目を集めました。中国側から関連状況についてさらにご説明いただけますか？

回答：習近平主席の招待に応じ、トランプ米大統領は現在中国を公式訪問している。これは中米両国首脳が昨年10月の釜山に続き再び対面して会談を行うものであり、米大統領の9年ぶりの訪中である。5月14日、習近平主席はトランプ大統領のために歓迎式典と歓迎晩餐会を開催し、トランプ大統領と会談を行い、またともに天壇公園を参観した。両国首脳は両国および世界の重大な問題について深く意見を交換し、一連の新たな共通認識に達した。

両国首脳は“米中の建設的な戦略的安定関係”を構築して中米関係の新たな位置づけとし、今後3年間ひいてはより長期間における中米関係の戦略的指針を提供し、両国関係の安定した、健全で、持続可能な発展を推進し、世界により多くの平和、繁栄、進歩をもたらすことで同意した。

両国首脳はさらに互いの懸念を適切に処理することについて重要な共通認識に達し、国際・地域の問題について意思疎通と協調を強化することで合意した。

両国首脳の交流は相互理解を促進し、相互信頼を深め、実務協力を推進し、両国人民の福祉を増進させ、世界に切望されていた安定と確実性をもたらした。

④習近平とトランプ米大統領が中南海で少人数会談（中華人民共和国外交部 2026 年 5 月 15 日）^{iv}

2026 年 5 月 15 日午前、習近平国家主席は中南海でトランプ米大統領と少人数での会談を行った。

春の終わりから初夏にかけての中南海は、緑が深まり、草木が青々と生い茂っていた。トランプ氏が到着すると、習近平は温かく出迎えた。両国首脳は散策しながら会話を交わし、時折足を止めて、園内の力強くそびえ立つ古木や色とりどりのコウシンバラを眺めていた。

習近平は次のように指摘した。トランプ大統領の今回の訪問は歴史的、象徴的な訪問であり、我々は中米の建設的な戦略的安定関係という新たな位置づけを共に確認し、経済貿易関係の安定、各分野における実務協力の拡大、互いの懸念の適切な解決について重要な共通認識に達し、国際および地域の問題について意思疎通と協調を強化することで同意した。今回の訪問は相互理解の促進、相互信頼の深化、両国人民の福祉の増進に資するものである。これはまた、中米が相互尊重を基礎として平和共存、協力・ウィンウィンを実現し、正しく付き合っていく道を歩むことが、両国人民の願いであり世界各国の人民の期待であることを改めて示している。トランプ大統領は米国を再び偉大にすることを望んでおり、私は中国人民を率いて中華民族の偉大な復興を実現することに尽力している。中米双方は協力を強化することで、各自の発展・振興を促進することができる。双方は我々が達成した重要な共通認識を着実に実行し、これまで懸命に築き上げてきた良好な勢いを大切に、正しい方向へと進み、妨害を排除し、両国関係の安定的な発展を推進しなければならない。

トランプ大統領は次のように述べた。習近平主席が私を中南海に招待してくれたことに非常に感謝している。今回の訪中は非常に成功した訪問であり、世界の注目を集め、忘れ難いものとなった。双方は一連の重要な共通認識を形成し、多くの合意に達し、少なくない問題を解決し、両国および世界にとって非常に有益である。習近平主席は私の旧友であり、私は習近平主席を非常に尊敬しており、我々は良好な関係を構築している。米中関係は非常に重要であり、必ずますます良くなっていくであろう。私は習近平主席と引き続き誠意ある深く掘り下げた意思疎通を続けていくことを望んでおり、ワシントンで習近平主席を迎えることを心から楽しみにしている。

双方はいくつかの地域のホットスポット（紛争地帯）の問題について意見を交換した。

蔡奇、王毅、何立峰らが上記の行事に参加した。

ⁱ 「习近平同美国总统特朗普会谈」（中華人民共和国外交部サイト重要新聞 2026年5月14日）

https://www.mfa.gov.cn/zyxw/202605/t20260514_11910264.shtml

ⁱⁱ 「2026年5月14日外交部发言人郭嘉昆主持例行记者会」（中華人民共和国外交部サイト發言人表態 2026年5月14日）https://www.mfa.gov.cn/fyrbt_673021/202605/t20260514_11910530.shtml

ⁱⁱⁱ 「外交部发言人就美国总统特朗普访华情况答记者问」（中華人民共和国外交部サイト發言人表態 2026年5月15日）https://www.mfa.gov.cn/web/fyrbt_673021/202605/t20260515_11910969.shtml

^{iv} 「习近平同美国总统特朗普在中南海小范围会晤」（中華人民共和国外交部サイト重要新聞 2026年5月15日）https://www.mfa.gov.cn/zyxw/202605/t20260515_11911080.shtml

商務部美洲大洋洲司（アメリカ・オセアニア局）の責任者が中米経済貿易協議の暫定的成果について解説ⁱ

習近平国家主席の招きにこたえて、トランプ米大統領は5月13日から15日まで中国を公式訪問した。訪問期間中、両国首脳は北京で会談を行った。5月12日から13日にかけて、米中経済貿易チームは韓国で経済貿易協議を行い、両国首脳会談に向けた経済貿易分野の準備を行った。双方は成果の具体的な内容について集中的に協議し、前向きな合意が得られた。商務部美洲大洋洲司（アメリカ・オセアニア局）の責任者が、関連する経済貿易の暫定的成果について解説した。

一、関税措置について：

質問：今回、中米双方は関連する関税措置について合意を得ましたが、より具体的な状況を説明していただけますか？

回答：関税は中米経済貿易関係における重要問題の1つである。2025年以降、中米双方は関税をめぐる数回にわたる協議を行い、“関税戦争”の沈静化を推進してきた。2026年2月、米国最高裁判所は米国政府が《国際緊急経済権限法》(IEEPA)に基づいて追加徴収した関税は違法であると判断し、その後、米国は世界の多くの貿易パートナーに対して相次いで2件の301条調査を開始し、新たな301条関税を以前のIEEPA関税の代替とする意向を示した。

今回の経済貿易協議において、中米経済貿易チームは関税問題をめぐって深く意思疎通を行い、関連する二国間関税について取り決めを行った。米国が約束を守り、今後、いかなる理由をもって対中関税を追加徴収または代替するにせよ、米国の対中関税の水準がクアラルンプール経済貿易協議において共同で取り決めた水準を越えないこと、またこれに続く協議を通じて、一歩進んで対中関連の一方的な関税を撤廃し、双方の経済貿易協力拡大に向けた積極的条件が創出されることを希望する。

同時に、双方は貿易理事会の（協議）項目において、同規模での製品の対等な関税引き下げの枠組・措置について議論することに原則同意し、規模はそれぞれ300億USドル以上で、双方が合意した互いに関心のある製品について、実行最恵国税率ひいてはより低い税率が適用される見込みである。この取り決めが実施されれば、中米二国間貿易の安定および拡大に資するだけでなく、世界の開放協力に有益な参考を提供するであろう。双方の経済貿易チームは密接な意思疎通を維持し、具体的な取り決めを協議して定め、できるだけ早期に実施を推進する。

二、貿易理事会および投資理事会について

質問：今回、中米が合意した一連の経済貿易成果には、中米双方が貿易理事会および投資理事会を設立することに同意したことが含まれていますが、具体的な状況をご説明いただけますか？

回答：中米経済貿易関係の本質は互惠・ウィンウィンであり、相違や摩擦に直面した際には、対等な協議こそが唯一の正しい選択である。協議の結果、中米双方は政府間貿易理事会および投資理事会の設立に同意し、双方の経済貿易チームは密接な意思疎通を維持し、できるだけ早期に理事会の組織、職能、運営モデル等について具体的な取り決めを行う。

2つの理事会の設立後には、双方が貿易と投資分野における互いの懸念を実務的に議論するためのプラットフォームが提供され、双方が政策に関する意見を交換し、協力を拡大し、相違を調整するのに有益であり、中米双方の経済貿易協議が“危機対応”から“メカニズムによる管理”へと転換するのを推進させ、双方の経済貿易協力を有効なメカニズムによる保証を提供するであろう。

三、農産物貿易の拡大について

質問：中米の双方向貿易の拡大、特に農産物貿易の方面において達した合意の状況についてご説明いただけますか？

回答：中米の農産物貿易は二国間経済貿易協力の重要な構成要素であり、需給相互補完のウィンウィン協力である。中国は世界で最も重要な農産物市場であり、米国の農産物を輸入することで国内市場の構造的な需給ギャップを埋め、民衆の食卓を豊かにし、また、中国の強大な消費市場は米国農民に安定した経済収入をもたらすことができる。同時に、中国の乳製品、水産物、野菜、果物などの特色ある農産物は米国市場においても大きな潜在的需要がある。

協議の結果、双方は一部の農産物の非関税障壁と市場参入問題の解決を推進することについて一連の積極的な合意を得て、また関連製品を対等な関税引き下げの枠組み措置に盛り込むことで原則同意し、同時に農産物の双方向貿易を拡大するための指針となる目標も設定した。双方が共同で関税引き下げ、非関税障壁の削減、市場参入の拡大などの方式を通じて、双方向の農産物貿易に有利な条件を創出し、農産物分野における貿易協力の回復と不断な拡大を推進することを期待している。

四、クアラルンプール経済貿易協議での共同取り決めの延長について

質問：今回の協議において、双方はクアラルンプール経済貿易協議の共同取り決めの延長について話し合いは行われましたか？

回答：2025年10月、中米双方はクアラルンプールでそれぞれが懸念する経済貿易問題を解決することについて共同取り決めに合意し、一部の関税と非関税措置について2026年11月10日まで実施を一時停止することとし、これには米国の24%の相互関税と中国の関連する対抗措置；米国の輸出管理における50%アフィリエイト・ルールおよび中国側の関連輸出規制等の措置；米国の中国の海事・物流および造船業に対する301条調査措置および中国の関連対抗措置などが含まれる。

関連する取り決めの中米経済貿易関係の安定における意義は重大で、関連措置の延長を推進することは両国の行動利益に合致し、国際社会の期待にも合致する。今回の協議において、中米双方は以前の経済貿易協議の成果を引き続きしっかり実行することを重ねて確認し、双方の経済貿易チームは密接な意思疎通・協議を維持し、クアラルンプール経済貿易協議の共同取り決めの延長を推進し、両国経済貿易協力により安定した政策環境と市場

の期待を提供する。

五、レアアースの輸出管理について

質問：ホワイトハウスのウェブサイトでは“中国はレアアースとその他の重要鉱物（リチウム、スカンジウム、ネオジム、インジウムを含む）のサプライチェーン不足に関する米国の懸念を解決するであろう。また、中国はレアアース生産加工設備と技術の販売を禁止または制限することに関する米国の懸念を解決するであろう”と言及していますが、中国はこれに対して何かコメントはありますか？

回答：中米経済貿易チームは関連する輸出管理の問題について十分な意思疎通・交流を行っており、双方は互いの合理的・合法的懸念を解決するよう共同で検討していく。中国政府は法律法規に従ってレアアース等の重要鉱物に対して輸出管理を実施しており、法令を遵守した、民生用の許可申請について審査を行っている。中国は米国と共同で両国企業の互恵協力を促進し、世界の産業チェーン・サプライチェーンの安全・安定を保証するために良好な条件を創出していくことを望んでいる。

六、航空機貿易について

質問：トランプ米大統領は、中国がボーイング機 200 機の購入に同意したと公言していますが、具体的な状況についてご説明いただけますか？

回答：航空は、中米両国が互恵・ウィンウィン協力を深めるための重点分野である。中米首脳がまとめた重要な合意に従って、中国の航空は自身の航空運輸の発展の必要に基づき、商業化の原則に従ってボーイング機 200 機を導入する。同時に、米国は中国に十分なエンジン、部品の供給を保証する。

七、農産物市場の参入について

質問：このほど、商務部報道官は、中米双方は経済貿易分野で暫定的な成果がまとまったと説明し、これには双方が一部の農産物の非関税障壁や市場参入の問題を解決する、または解決を実質的に推進することが含まれていますが、具体的な状況についてご説明いただけますか？

回答：農産物貿易協力は中米経済貿易関係の重要な構成要素である。両国の農業分野における産業は高度に相互補完し、協力の余地は広大である。双方は対等な協議を通じて、農業分野で積極的な成果を得ており、農産物の双方向の市場参入の問題について若干の合意に達し、関連する成果は双方の懸念に配慮し、互恵・ウィンウィンを実現したものである。

米国は中国の一部の農産物の非関税障壁と市場参入の問題を解決する、または解決を実質的に推進することを承諾し、主な内容は次の通りである：第一に、2008 年より中国の米国への乳と乳製品の輸出に実施していた自動差し止め措置を解除することを約束した。この措置解除後には我が国の関連製品の米国輸出により便宜な貿易条件が提供される；第二に中国の鉢植え植物の試験的米国輸出を受け入れることに同意し、かつできる限り早期に関連規定の修訂を始動させ、我が国の鉢植え植物の米国市場参入の実現を推進する；第三に中国が米国に輸出する 3 種の水産物の自動差し止め措置の解除を推進することに同意した。このほか、米国は山東省の高病原性鳥インフルエンザ非発生地域の認定および中国の関連企業の輸入警告レッドリストからの除外申請の審査を加速

させることについて積極的な承諾をした。

関連法律法規に従って、中国は要求を満たした米国が中国に牛肉を輸出する企業の登録を再開し、米国の要求を満たした一部の州の高病原性鳥インフルエンザの制限を解除し、米国の関連する州からの家禽類製品の輸入を再開し、薬物残留問題により中国への輸出が一時停止されている米国牛肉企業の是正資料の審査を加速させ、また米国が関心を寄せている農業バイオテクノロジーについても米国と交流・意思疎通を行う。

中米は互いに重要な農産物の貿易パートナーである。上記の成果の達成は、双方の懸念する具体的な問題を解決するだけでなく、協力を深めるための基礎を固め、良好な雰囲気を経勢した。現在、一部の約束は予定通りに実施されている。次の段階として、双方は引き続き対等な対話、互いの歩み寄りを堅持し、農業分野において不断に協力リストを拡大し、問題リストを縮小していかなければならない。中国は米国とともに、各自の資源の天賦と比較優位を十分に生かし、二国間の農業協力を深め、農産物貿易の促進に良好な条件を創出していくことを望んでいる。

八、米国牛肉企業の登録について

質問：このほど、米国は、中米ソウル経済貿易協議において、中国は米国の中国に牛肉を輸出する企業の登録問題を解決したと述べましたが、具体的な状況についてご説明いただけますか？

回答：中米ソウル経済貿易協議において、双方は関連する米国の牛肉企業の登録問題について深く意見の交換を行った。これより以前、米国内における高病原性鳥インフルエンザの異種間伝播のリスクを考慮し、米国から牛肉輸入の安全を確保するため、中国税関総署は米国の牛肉企業の中国における登録の承認をしばらく見合わせていた。これ以降、米国は中国の要求に基づいて防疫に関する技術資料を何度も提供した。中国は我が国の関連する法律法規および国際動物衛生規約に基づいて、米国が提供した資料に対して厳格な科学的評価を行い、米国の講じた措置は中国の要求を満たしていると判断し、関連する米国牛肉企業の中国における登録再開を決定した。同時に、一部の関連する薬物残留の基準超過により輸入を一時停止していた米国牛肉企業について、中国はすでに米国に是正活動の要求事項を含む解決の手段を提供しており、科学的原則に基づいて米国の是正状況についてリスク評価を行い、技術チームを米国に派遣して現場検査を行う。中国は評価結果に基づいて、次の段階の対応策を決定する。

中国は中米農業貿易協力を重視しており、米国の高品質な農産物が中国市場に参入するのを歓迎し、米国と中米経済貿易協議のメカニズムの下で、これに続く業務について密接な意思疎通を維持し、中米双方のそれぞれの懸念を適切に解決するよう推進していく。

ⁱ 「商务部美大司负责人解读中美经贸磋商初步成果」（中華人民共和國商務部サイト新聞發布・司局負責人發布 2026年5月20日）https://www.gov.cn/lianbo/202605/content_7069640.htm